

# 令和元年度 経営発達支援事業 評価報告書

奥州商工会議所

## I. 目的

当所経営発達支援計画記載の事業実施状況及び成果について、本事業実施に係る改善点やそのプロセスを明確にし、本事業推進にあたる効果的なPDCAサイクルを構築するため、外部有識者を含めた構成メンバーによる事業評価検証委員会を実施し、評価・見直しを行い、次期の経営発達支援計画内容に反映させていくことを目的とする。

## II. 事業評価検証委員会の開催

今年度の評価検証については、国内における新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、感染拡大を防止する観点から緊急的な措置として委員会の招集は行わず、書面にて実施した。

### 【委員】

No	職名	氏名	役職等
1	委員長	菊地 浩明	奥州商工会議所専務理事
2	委員	佐々木 亨	岩手県南広域振興局参事兼経営企画部長
3	委員	菊地 厚	奥州市商工観光部長
4	委員	及川 和人	(税)及川会計 代表社員税理士
5	委員	高橋 雅裕	(株)高橋コンサルティングオフィス 代表

### 【審議事項】

(1)経営発達支援計画の事業評価について

## III. 対象期間

平成31年4月1日から令和2年3月31日

## IV. 評価方法

- A: 目標を達成することができた。(90%以上)
- B: 目標を概ね達成することができた。(70%~89%)
- C: 目標を半分程度しか達成することができなかった。(50%~69%)
- D: 目標をほとんど達成することができなかった。(1~49%未満)
- E: 未着手。(0%)

## 【委員からの主な評価及び意見】

### 1. 総評

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、小規模事業者をとりまく事業環境は激変している。又、今後加速していく。  
経営発達支援計画のそもそもの目的は小規模事業者の持続的発展、そのための経営力向上であることを踏まえ、柔軟かつ迅速な対応も必要になってくると考えられる。  
全方位的な取り組みではなく、優先順位を考えながら伴走型の支援実現を期待したい。
- 経営発達支援事業等を中心に積極的な取り組みをされてきたこと評価に値すると思います。  
今後強化が求められるとすれば、事業計画策定支援等でセミナー等の実施後の会員事業者へのフォローアップ。情報の消化不良を防止する意味で、より個別的なフォローアップを各分野の専門家の協力を得ながら実施できればより効果的であると考えます。  
新年度は、コロナ禍の中、活動もかなり慎重に行わなければなりません、会員事業者、地域の為に今できること、今やらなければならない支援事業を中心に事業者目線、地域目線での取り組みに期待いたします。
- 新型コロナウイルス感染症に影響により、事業活動の在り方についても変革が求められる中、令和元年度の評価では、事業実績が低調だった「新規事業展開を目指す事業者の支援」や「ITを活用した販路開拓支援」の取組が、今後一層重要となると考えられることから、取組の課題や目標を達成できなかった要因をしっかりと把握し、対応を強化していく必要がある。